

幸福実現 THE HAPPINESS REALIZATION NEWS NEWS

清潔で、
勇断できる政治を。 **幸福実現党**
公式HP hr-party.jp 平成30年 6月

活動紹介版

“中国による土地の爆買い規制を!” 賛同集まる 北海道本部 森山佳則氏ら 道庁に1万5912筆の署名提出

北海道庁総合政策部政策局に署名と要望書を持ち込んだ森山佳則氏(写真右)。



幸福実現党の北海道本部統括支部長の森山佳則氏らが18日に道庁を訪れ、外国資本による土地取引の規制を求める署名を1万5912筆と要望書を、北海道の高橋はるみ知事宛に提出しました。

北海道では、中国など外国資本による「土地の爆買い」が進んでいます。観光地をはじめ、自衛隊駐屯地周辺や水資源のある森林など、安全保障に関わる広大な土地の買収が

進んでいるケースも出ています。なかには、町として土地を買い取って防衛したり、自治体首長が国に対策を求める動きも始まっています。

要望書では、「外国法人や外国人による土地所有と利用目的、利用状況についての調査」「『外国人土地法』第4条に規定する政令を定めて対処するよう、国に働きかけること」などを挙げています。

今回の署名は、北海道本部を中心に集めたものですが、この問題に危機感を抱いた道外の支援者

の中でも協力の機運が生まれ、数多くの署名が集まったといえます。

森山氏は、こうした規制の強化を訴えつつ、「土地を持つていても活用できない方が、中国資本からの買収にに応じてしまう例が数多くある。そういった方々への救済措置を考えていく必要がある」としています。

記者会見を行う森山氏(写真中央)、北海道本部の野市裕司代表(右)、白石区の田澤孝子代表(左)。



奈良県本部 首相官邸に 憲法改正を 要望



要望書を提出する、国領豊太・選対委員長代理(写真中央)。

奈良県本部は、「憲法9条を改正し国防軍の組織を明記することを求める要望書」と奈良県民を中心に集めた署名を、安倍晋三首相宛に提出しました。幸福実現党の国領豊太・選対委員長代理ら3氏が15日に内閣府の担当者のもとを訪れ、提出しています。

奈良県本部代表の田中道彦氏によれば、署名活動は今年の2月11日の建国記念日に始めたもの。田中氏は「橿原神宮駅前で呼びかけましたが、全国から参拝に集まった方など、賛同される方が多かったですね。国防への意識が高まっていると感じます」としています。

積量子党首 和歌山の新産業を視察

地方創生のフロンティアも 航空・宇宙!

積量子党首は6月7日から8日にかけて、和歌山県の「航空・宇宙産業」の発展の芽吹きを視察しました。

日本初の民間ロケット発射場の計画が進む串本町では、2021年の発射を目指しています。同町の田嶋町長は「地元の理解も進み、県の協力も得られている。ぜひ計画を実現したい」と話します。串本町では、発射台の見学に来る観光客向けにクルージングをやるうなどというプランもあって、地元は盛り上がりつつあります。

白浜町では、ドローン事業を進める民間事業を視察しました。同社の開発するドローンは、25カ国語で1000メートル上空からスピーカーで声を届かせることができ、災害



開発中のドローン。

救助などに期待されています。アメリカや中国と比べても、日本の航空・宇宙産業への投資は驚くほど少ないのですが、民間参入が盛んになり、市場が広がってきています。

積量子党首は、「党としても、今後の成長が期待できる宇宙開発への投資には力を入れたと考えています。トランプ大統領が『宇宙軍を作る』と打ち出していますが、宇宙開発は防衛産業にもつながるので、日本も推進すべきです。

『ロケット発射を見たら人生観が変わる』と聞きます。万の単位の人たちが携わる宇宙開発は、きつと町の心を一つにします。ワクワクするような夢の実現にこそ『可能性の技術』といわれる政治の面白さがあるのではないのでしょうか。」と話します。



田嶋勝正町長(写真右)を表敬訪問。海辺に面する串本町は、トルコ軍艦エルトゥール号遭難と、地元の人々の献身的な救援でも有名で、トルコ・ヤカケント町とメルシン市との姉妹都市提携を行っている。

幸福実現党の 地方議員 議会一般質問に臨む

6月に入り、各地で市議会・町議会の定例会が始まりました。全国21人の幸福実現党の地方議員も一般質問に立っています。

北海道・幕別町 小島ちえ議員が質問 商店活性化の鍵は？



小島ちえ町議

北海道・幕別町の小島ちえ町議は、6月18日の一般質問で、地域経済活性化のための「プレミアム商品券」事業の継続について質問しました。この商品券は、幕別商工会が10年前から発売しているもので、町が発行費用を補助。購入額の10%割増しで加盟店での買い物に使えます。

小島町議は「消費増税により、さらに景気が落ち込むと予想される。買い物客の町外への流出を防ぐためにも発行を続けるべきではないか」と質問。町からは、「事業の効果を検証して、商工会と協議したい」との返答がありました。

小島町議は「加盟店は、プレミアム商品券をリピーターの獲得に活用したり、発売に合わせてイベントを開催している。町民や店からの要望もあり、各商店の自助努力を生かす策として、今後も推進していきたい」としています。

栃木・下野市

石川信夫議員が初質問

今年4月に栃木県下野市議会議員に当選した石川信夫町議が、6月8日に初めての一般質問に臨みました。

石川市議は、地域の聴覚障害者の方の要望を受け、役所の総合窓口到手話通訳の方がいると有難いと提案。市からは、「役所の窓口にはプロを雇っており、ある程度手話も出来る方であるが、これまで聴覚障害者の方が来たことはない」との返答がありました。

石川市議は「聴覚障害者の方々にも、窓口到手話ができ



る人材がいることが知られていないので周知したい。できれば役所の職員にも手話を学んでもらいたい」といいます。

このほか、国分寺跡地の「七重の塔」を復元させての利活用などについて質問しました。

茨城県・北茨城市 映画「心に寄り添う。」 上映会を開催



映画「心に寄り添う。」は、幸福の科学グループが展開する障害者支援・不登校児支援・いじめ対策・自殺防止といったNPO型活動について、学生たちが取材した様子を収めたドキュメンタリーです。全国の幸福の科学の支部・精舎で上映中。



柴田きくえ市議

茨城県・北茨城市議で、ハッピーライフ・ネットワーク北茨城市代表の柴田きくえ氏が5月、北茨城市内で映画「心に寄り添う。」上映会を開催しました。参加者からは、「もし自分に障害のある子供がいたら、映画に出ていたお母さん達みたいにはできないと思う。皆さんが優しくして明るいのです素晴らしいと思いました。」などの感想が寄せられました。

柴田氏は、「ずっと障害児の家族を支援してきましたが、『障害があっても、魂は健全』という考え方を、多くの方に知っていただきたい。障害者のご家族の方にも、もちろん観ていただきたい」としました。

第2回福岡県本部大会を開催 「自分の国は自分で守る」決意を



会場の様子。

「自分の国は自分で守ろう！」と題して基調講演を行いました。佐々木氏は北朝鮮への訪問経験を交えつつ、「日本全体に他人事のような雰囲気がある。しかし本丸は中国の軍事的拡張」とし、「日本人は国防意識を持ち、憲法を改正しないといけない」と語っています。

第二部は「目覚めよ日本、今が正念場」と題して、江夏正敏党政調会長が講演を行いました。「これまで北朝鮮に対してはかなり厳しい姿勢で、経済制裁、場合によっては武力行使による体制崩壊を勧めてきた。しかし、トランプ氏と金正恩氏というトップが合意文書を交わした今、今後は北朝鮮の無血開城、開国を目指したい。日本は自分の国を自分で守れるようになるためにも、国防強化を進めるべし」と語りました。

参加者からは「今、歴史の大転換の時なのだ」と分かった。「幸福実現党ならではの視点を得られた」などの声も寄せられています。



党政調会長の江夏正敏氏。

福岡市のTKP博多駅前シティセンターで6月17日、幸福実現党福岡県本部が、第2回県本部大会「東アジアの日本包囲網から、国家を守れ」を開催しました。180人の会場はほぼ満席で、朝鮮情勢に対する関心の高さがうかがえました。

第一部は、ゲストの産経新聞九州総局長の佐々木類氏が